

岡山県
くりにん

NO.47
2013.1



◆年頭にあたって◆

環境、時代の流れを先取りした経営への取り組みを	一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂	1
循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展に一層の貢献を	公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫	2
循環型社会の推進のために	岡山県環境文化部長 豊田 ひとみ	3
PCB廃棄物の適正処理に向けて	岡山市環境局長 甲斐 充	4
社会基盤たる廃棄物適正処理	倉敷市環境リサイクル局 局長 物部 健二	5

◆行政ニュース◆

〈岡山県からのお知らせ〉 解体工事等を行う事業者の皆様へ	6
〈岡山県からのお知らせ〉 岡山県産業廃棄物処理税条例が改正	7
〈岡山県からのお知らせ〉 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	9
〈岡山県からのお知らせ〉 岡山県の産業廃棄物の排出及び処理状況について	11

◆協会だより◆

平成24年度優良施設視察研修会（宿泊）に参加して	12
平成24年度第2回中国地域協議会開催	14
平成24年度優良施設視察研修会に参加して	15
第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して	16

〈世界見聞録30〉 いちめんの菜の花	倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎	17
--------------------	----------------	----

◆支部ニュース◆

〈備北支部〉 新見地域環境クリーン作戦	21
〈井笠支部〉 第15回井笠地域環境クリーン作戦実施	22
〈東備支部〉 東備支部クリーン作戦吉永八策	23
〈津山支部〉 第18回津山支部地域環境クリーン作戦	24
〈倉敷支部〉 第19回倉敷地域クリーン作戦	25
人生、楽しんで行きましょう！（趣味のコーナー）	26

◆青年部会のページ◆

第8回親子エコツアー	27
第8回全国産業廃棄物連合会青年部協議会 全国大会 in 岡山	28

◆事務局だより◆

新規入会正会員 紹介／協会への入会勧誘のお願い	29
表紙カラーガイド／編集後記	30

環境、時代の流れを先取りした経営への取り組みを

一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、ご家族そろって健やかに新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

また、当協会の事業活動等の運営にあたり、日頃から会員の皆様をはじめ、行政機関や関係団体の方々の格別のご支援とご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げますと共に本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、未曾有の東日本大震災から1年10ヶ月、改めて自然災害の脅威を認識させられました。と同時に発生した原子力発電所の事故に起因するエネルギー問題、その供給と将来にわたるエネルギー政策のあり方への警鐘と産業廃棄物処理業界を含めた産業活動や消費活動に限らず、あらゆる場面で省エネルギーや節電への要請が高まり、再生エネルギーの導入も進んでいます。

近年地球環境問題が叫ばれ深刻化している状況下において、当業界も地球温暖化対策や循環型社会の構築に向けた取り組みを進めていくことが求められています。

また、経済界では、長引く円高とデフレのもと、さらには海外経済の減速や日中関係の悪化に伴う輸出や生産の縮小等により企業情勢や雇用環境は依然として厳しい状況にありますが、年末に新政権が誕生、経済再生に最優先で取り組む方針で、その期待感から円安、株価上昇の傾向になりつつあり、今年は、金融緩和、円安、デフレ脱却等について、大いに期待しています。

しかしながら、私たち産業廃棄物処理業界におきましては、経済不況等による産業廃棄物の発生量の減少、処理業態の変化などにより非常に厳しい経営環境となっています。この状況を乗り切るためには、企業を取り巻く経営の外部環境とヒト、モノ、カネ、情報という内部環境を正確に把握し、時代の流れを先取りし、将来の方向性を決定して経営戦略を立て、取り組んでいかなければなりません。

昨年度4月に施行された改正廃棄物処理法で「優良産廃処理業者認定制度」が創設されたことに伴い優良産業廃棄物処理業者育成講習会を新たに開催し、適正処理の一層の推進と優良化の促進等を図ったところです。

引き続き、良好な環境保全の推進と循環型社会の更なる構築を目指し、地域に益々貢献できる団体として活動してまいりたいと存じますので会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

当協会は、本年設立20周年の節目の年にあたります。その間長きにわたり協会の発展と組織の拡充にご尽力いただきました多くの先輩諸兄に深く感謝申し上げます。

つきましては、記念行事を総会と同じ日の5月23日（木）に多くの皆様方の参加をいただいで盛大に執り行うべく準備を進めていますのでよろしく願いいたします。

終わりになりましたが、会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展に一層の貢献を

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫



一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会の諸事業に皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、未曾有の被害をもたらした東日本大震災からの復旧・復興が急がれた一年であったと申し上げることができるかと思えます。

被災地の復興の基本となる災害廃棄物等の処理については、広域処理を含めた体制の整備等が着実に進捗していることと存じます。

国におかれましては、災害廃棄物処理特別措置法及び放射性物質対処特別措置法に基づく施策を行われておりますが、災害廃棄物等のいっそうの円滑な処理を推進し、災害廃棄物等の完全撤去を早期に実現いただくよう望むものでございます。

さて、われわれ産業廃棄物処理業は、依然として非常に厳しい経営環境に置かれており、それぞれの企業においては、経済不況による廃棄物発生量の減少、異業種からの参入による競争の激化等への対応が、ますます必要になってくるものと考えられます。

かような折り、国におかれましては、循環型社会や低炭素社会を実現するための政策が強化されつつあり、さらに循環型社会形成の動きについても一昨年4月施行の改正廃棄物処理法を含めまして、産業廃棄物処理業とりわけ、優良な産廃処理業者を積極的に育成していこうという機運が生まれております。

このような状況を踏まえ、本年は、当会が目的に掲げている「持続可能な循環型社会の形成等の公益の増進」に一層取り組み、この目的の達成のために「適正処理」「地球温暖化対策」「人材及び優良事業者の育成」の3つを柱として各種の事業を展開しながら、国に対して必要な働きかけを行って参ります。

具体的には、優良産廃処理業者認定制度や、本年4月1日からの実施が見込まれている「環境配慮契約法」の産業廃棄物処理委託契約の類型化等に関する施策への対応を引き続き図って参ります。優良認定制度については常時の認定申請を望む声が強いことから、これを粘り強く国に要望していきたいと考えております。

加えて、改正廃棄物処理法の施行状況を踏まえ、次期の法改正に向けた準備に着手しつつ、東日本大震災の教訓を活かしたこれからの災害廃棄物処理の在り方についても議論していきたいと考えております。このほか、国の「日系静脈メジャーの育成・海外展開促進事業」に見られるような海外展開等も重要な課題でございます。

当会は、これらの諸課題に取り組み、貴協会とともにわが国の循環型社会の形成と産業廃棄物処理業の発展に向け、一層の貢献を果たして参りたいと考えております。本年も皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますようお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしく願い申し上げます。 以上

循環型社会の推進のために

岡山県環境文化部長 豊田 ひとみ



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の廃棄物行政に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年11月には、全国産業廃棄物連合会青年部協議会第8回全国大会が貴協会の御尽力のもと本県で盛大に開催されましたことをお慶び申し上げます。同大会では貴協会青年部がCSR活動の一環として取り組まれてきた小学生への出張授業や各ブロックの取り組み発表など幅広い活動の報告が行われたところであり、今後とも関係者の皆様方の連携により、地域に密着した幅広い取り組みがより一層推進されますことを期待いたしております。

さて、近年の社会情勢の大きな変化の中で、国民の環境に対する関心、意識はますます高まっております。地球温暖化への対応など取り組むべき課題も山積しております。特に東日本大震災を契機に、再生可能エネルギー活用拡大などのエネルギー構造の転換を進めることが喫緊の課題となっています。

また、廃棄物に関しましては、世界的な資源制約が顕在化する中で、資源の効率的活用や廃棄物の再生利用を推進するなど循環型社会の確立を目指した取組を一層すすめることが必要であり、廃棄物排出量のさらなる削減や不適正処理等への対応も強く求められております。

このような中、県では昨年2月に「循環を基調とした廃棄物再生・処理システムの構築」と「廃棄物の削減による環境への負荷の低減」を基本理念とした「第3次岡山県廃棄物処理計画」を策定し、より一層の適正処理の推進はもとより、廃棄物の排出抑制と循環的利用の推進など、具体的な数値目標を掲げ、各種施策を進めているところです。

循環型社会の形成を進めていくためには、行政施策のみならず、環境に配慮したライフスタイルの実践など、県民一人ひとりの取組とともに、豊富な経験や人材を有する岡山県産業廃棄物協会と会員皆様方の御協力が不可欠であり、なお一層の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

貴協会と会員皆様方にとりまして、本年が良い年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

PCB廃棄物の適正処理に向けて

岡山市環境局長 甲斐 充



平成25年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。協会の皆様方には、平素より市政とりわけ廃棄物行政に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。

貴協会におかれましても、廃棄物適正処理の推進、業界関係者の指導・育成、さらには関連事業の一層の発展に尽力されているところであり、役員を始めとした皆様方の日々の努力と熱意には深く敬意を表します。

さて、現在、本市における廃棄物関係行政のなかでも、PCB廃棄物適正処理の推進に関しましては、早期処理の実現に向けた対策強化が進められているところではありますが、その処理を担う日本環境安全事業株式会社（以下、JESCO）によるPCB廃棄物の処理は当初の予定より遅延しているほか、微量PCB廃棄物についても、処理施設の不足から、このままでは、処理期限までに処理を完了させることは困難な状況と伝えられています。

PCB廃棄物問題を早期に解消するためには、処理施設の増加や処理の効率化など、処理体制の強化に向けた取り組みに加え保管事業者および処理事業者に対する積極的な啓発が必要とされているところであり、その取り組みの促進を目的に、昨年末にはPCB廃棄物の処理期限を、従来の平成28年7月から平成39年3月と大幅に延長するとのPCB特別措置法改正も行われたところです。

しかし、法改正により処理期限は延長されたとはいえ、JESCOの事業期間自体がこれに追従して延長される保証はない上、筐体の老朽化に伴う充填油の漏出や筐体の紛失、無許可事業者への処分依頼等の不適正処理など、長期保管に伴うリスクも高まるため、適正処理の促進に向けた取り組みが後退するようなことがあってはいけません。

本市では、これまでも多量保管事業者をはじめとしたPCB廃棄物の保管事業者に対して早期に適正処理するよう促してきたところではありますが、今後、処理促進に向けた更なる啓発活動等を行っていくことで、安全・安心な廃棄物処理体制構築の実現を目指していきたいと考えています。

廃棄物処理業界の皆様には、これまでもPCB廃棄物の適正処理をはじめとした多くの施策に多大なご協力をいただいているところではありますが、今後とも、廃棄物の適正処理に向けて業界各社のご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会基盤たる廃棄物適正処理

倉敷市環境リサイクル局 局長 物部 健二



平成25年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

また、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様方におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災からまもなく二年になるうとしています。多くの尊い生命を奪い、日本の社会・経済に大きな爪痕を残した震災でありましたが、国家・国民の総力により、被災地は今、復興に向かって力強く前進しております。

復興に不可欠とされた災害廃棄物処理への取り組みが着実に進んでいるのは大変喜ばしいことですが、放射性廃棄物の処理という新たな課題が浮上したことにより、私たちはこれまで抱いてきた《迷惑物》という感覚を超えた新しい視点で廃棄物を見ていく必要に迫られることとなりました。

震災で経験したこれらのことから、廃棄物を減量し安全に安定処理することがいかに容易でなく、かつ、国民生活や企業活動を下支えしているかということ、廃棄物行政に長年携わってきた私自身も改めて認識させられたところです。

近時の廃棄物処理問題では、使用済小型電子機器類リサイクル制度への対応や、PCB含有廃棄物の適正処理推進といった喫緊の課題が目白押しの状況です。倉敷市といたしましては、廃棄物に関するリサイクル、減量化又は適正処理に資する補助金制度や各種認定制度などを有効に活用するとともに、積極的な情報発信をしながら、今後ますます高まる廃棄物適正処理への実現に努めてまいり所存であります。そのためにも、貴協会との協働・連携が大変重要であると認識しておりますので、引き続き貴協会並びに会員皆様方からの御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会の今後ますますのご発展とご活躍、並びに会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



解体工事等を行う事業者の皆様へ

建築物の解体等の際に発生するトランス、コンデンサ、蛍光灯安定器等は、ポリ塩化ビフェニル (PCB)を含むおそれがあります。

絶縁油中のPCB濃度が0.5mg/kgを超えるものはPCB廃棄物に該当し、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 (PCB特措法) 及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) に基づき適正処理する必要があります。

解体工事等を行う前に、建物所有者等にPCB廃棄物の有無について確認してください。

※ PCB廃棄物を保管している事業者は、PCB特措法に基づき、前年度のPCB廃棄物の保管および処分の状況を毎年都道府県知事 (政令市の長) に届け出なければなりません。

岡山県へ提出された届出書は、備前県民局環境課、備中県民局環境課、美作県民局環境課 (各県民局所管分に限る。) において縦覧しています。(岡山市、倉敷市内で保管しているものは、岡山市、倉敷市で縦覧可能です。)

○PCB特措法に基づく規制

PCB廃棄物の譲渡及び譲受は、原則として禁止されており、違反すると3年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処せられ、又はこれを併科されます。

○廃棄物処理法に基づく規制

PCB廃棄物は、特に有害な産業廃棄物として特別管理産業廃棄物に指定されており、保管、運搬及び処分 (焼却、洗浄等の行為) の方法について、厳しい基準が定められています。

また、廃棄物処理法に基づく許可を得ずに他人のPCB廃棄物の処理を行った場合、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処せられ、又はこれを併科されます。

【問い合わせ先】

担当窓口	所在地	電話番号	管轄区域
備前県民局環境課 廃棄物対策班	岡山市北区弓之町6-1	086-233-9805	玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、 吉備中央町、和気町
備中県民局環境課 廃棄物対策班	倉敷市羽島1083	086-434-7007	笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、 浅口市、早島町、里庄町、矢掛町
美作県民局環境課 廃棄物対策班	津山市山下53	0868-23-1243	津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、 勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、 美咲町

※ 1) 岡山市の区域については、岡山市役所へお問い合わせください。

岡山市産業廃棄物対策課 岡山市北区大供1-1-1 (TEL: 086-803-1303)

2) 倉敷市の区域については、倉敷市役所へお問い合わせください。

倉敷市産業廃棄物対策課 倉敷市西中新田640 (TEL: 086-426-3385)

3) 岡山県本庁担当課

岡山県循環型社会推進課 岡山市北区内山下2-4-6 (TEL: 086-226-7308)



岡山県産業廃棄物処理税条例が改正

岡山県税制懇話会（会長・岡本輝代志岡山商科大学学長補佐）は、産業廃棄物処理税について、現行の内容でさらに5年間の継続が適当とする報告書をまとめ、平成24年10月5日、知事に提出しました。

これを受けて、11月定例県議会において岡山県産業廃棄物処理税条例が改正され、現在の税制度のまま産業廃棄物処理税を継続した上で、5年後にあらためて見直しが検討されることになりました。

岡山県税制懇話会の報告書の概要は次のとおりです。

岡山県税制懇話会報告書 概要版

産業廃棄物処理税は、導入から5年毎を目途に見直しを行うこととされており、今年度、産業廃棄物の動向と産業廃棄物処理税の導入効果を検証し、産業廃棄物処理税の必要性及び税制度、使途事業、基金の今後のあり方等について検討を行った。

1 産業廃棄物処理税導入の効果

(1) 産業廃棄物の状況

平成15年度から産業廃棄物処理税を導入し、「産業活動の支援」、「適正処理の推進」、「意識の改革」の3つを柱に施策を展開してきた結果、次のような導入効果が現れている。

		平成14年度	平成22年度	対14年度比
排出量		683万t	591万t	86.5%
最終処分量		88万t	35万t	39.5%
不法投棄 (10t以上)	件数	20件	3件	15.0%
	投棄量	3,830 t	103 t	2.7%

(2) 税収と充当事業費の推移

- 税収は、約9億円から4.2億円の間で推移し、平成23年度は約4.8億円である。
- 事業費は、約2.5億円から5.9億円の間で税収を活用しており、平成23年度は約3億円を充当している。
- 基金残高は、約3.9億円から10.6億円の間で推移し、平成23年度は約6.9億円である。

(億円)

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23
税収	8.6	8.9	9.0	8.0	7.4	6.2	4.2	4.5	4.8
事業費	2.5	3.8	3.8	4.9	5.9	5.3	4.2	4.3	3.0
交付金等※	2.1	2.4	2.1	2.1	2.3	1.9	1.4	1.4	1.5
基金残高	3.9	6.1	9.5	10.6	10.2	9.0	7.6	6.7	6.9

※「交付金等」には、岡山市・倉敷市への交付金、徴税費が含まれる。

(3) 使途事業の実績と主な成果

使途事業に係る充当方針を定め、次の3つを柱に税収を活用して施策を展開してきた。

産業活動の支援

【主な内容】

- ・岡山エコ事業所等の普及促進〈2,766万円〉
- ・バイオマスの利活用の推進〈26,057万円〉
- ・循環型クラスターの形成促進〈32,801万円〉

適正処理の推進

【主な内容】

- ・産業廃棄物の適正処理等の推進〈28,750万円〉
- ・不適正処理防止・監視指導体制の強化対策〈42,158万円〉
- ・有害産業廃棄物の適正処理対策〈9,254万円〉

意識の改革

【主な内容】

- ・おかやま・もったいない運動の推進〈12,958万円〉
- ・環境情報の拠点づくり〈4,117万円〉
- ・3Rに関する環境教育・環境学習の推進〈43,518万円〉

〈 〉内はH19~H23までの5年間の税充当額



2 産業廃棄物処理税の継続の必要性

(1)必要性

- 産業廃棄物処理税の導入以降、産業廃棄物の排出量は減少傾向、最終処分量も大幅に減少、不法投棄（10 t 以上）も件数・投棄量も大幅に減少している。
- 循環型社会を構築していくためには、引き続き、
 - 産業廃棄物の発生抑制、減量化
 - 不法投棄の防止対策
 - 県民、事業者の意識の改革
 といった事業を実施していく必要があり、目的税である産業廃棄物処理税は、経済的動機付け^(注)の役割とともにこれらの事業を行うための貴重な財源となっている。
 (注) 最終処分コストを減らすため、発生抑制、リサイクルの推進を促す効果
- 特に、次世代を担う子供たちへの継続的な環境教育のための財源として必要である。

これらのことから、当分の間、産業廃棄物処理税は継続すべきである。
 なお、5年を目途に、必要があると認めるときは、見直しを行うべきである。

(2)税制度

全国的に本県と同じ税率、課税方式が定着していること、また、適切に申告納付・納入が行われていることに鑑みると、変更する必要はないと考えられる。

納税義務者	排出事業者又は中間処理業者（最終処分場に産業廃棄物を搬入する者）
課税標準税率	最終処分場への搬入量1トンにつき1,000円
仕組み	

3 今後の方向性

(1)使途事業

「産業活動の支援」「適正処理の推進」「意識の改革」の3つの柱に沿って引き続き事業を実施する必要があるが、その際、次のことに留意すべきである。

- 税収が大幅に減少している現状を踏まえ、事業の見直しを積極的に行うとともに、より効果的に事業を行う。
- 事業について、広く周知が図られる必要があり、周知方法等に係る検討を十分行う。
- 事業の実施に当たっては、税を活用した事業であることを明記するとともに、事業成果のわかりやすい公表に、工夫、配意する。

(2)基金

近年漸減傾向にあるが、事業の適切な取捨選択のもとに、適切な基金規模の維持に留意すべきである。



使用済小型電子機器等の 再資源化の促進に関する法律

法制定の背景

資源制約

- 新興国の需要増大に伴う資源価格高騰
- 資源供給の偏在性と寡占性

環境制約

- 最終処分場の逼迫
- 適正な環境管理

- ・使用済小型電子機器等に含まれるアルミ、貴金属、レアメタルなどが、リサイクルされずに埋め立てられていることへの対応が急務。

法制定の目的

使用済小型電子機器等の再資源化を促進するための措置を講ずることにより、廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保を図る。

法律の内容

基本方針

- 環境大臣及び経済産業大臣が、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する基本方針を策定、公表

(内容) 再資源化の促進の基本的方向、再資源化を実施すべき量に関する目標、促進のための措置に関する事項、個人情報の保護その他の配慮すべき重要事項等

再資源化を促進するための措置

- 再資源化のための事業を行おうとする者は、再資源化事業の実施に関する計画を作成し、環境大臣及び経済産業大臣の認定を受けることができる。
- 再資源化事業計画の認定を受けた者又はその委託を受けた者が使用済小型電子機器等の再資源化に必要な行為を行うときは、市町村長等による廃棄物処理業の許可を不要とする。
- 再資源化事業計画の認定を受けた者又はその委託を受けた者については、産業廃棄物処理事業振興財団が行う債務保証等の対象とする。

施行期日等

- 公布の日から起算して1年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。
- 法律の施行後5年を経過した場合において、法律の施行の状況について検討を加え、必要な措置を講ずる。

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律

【制度概要】

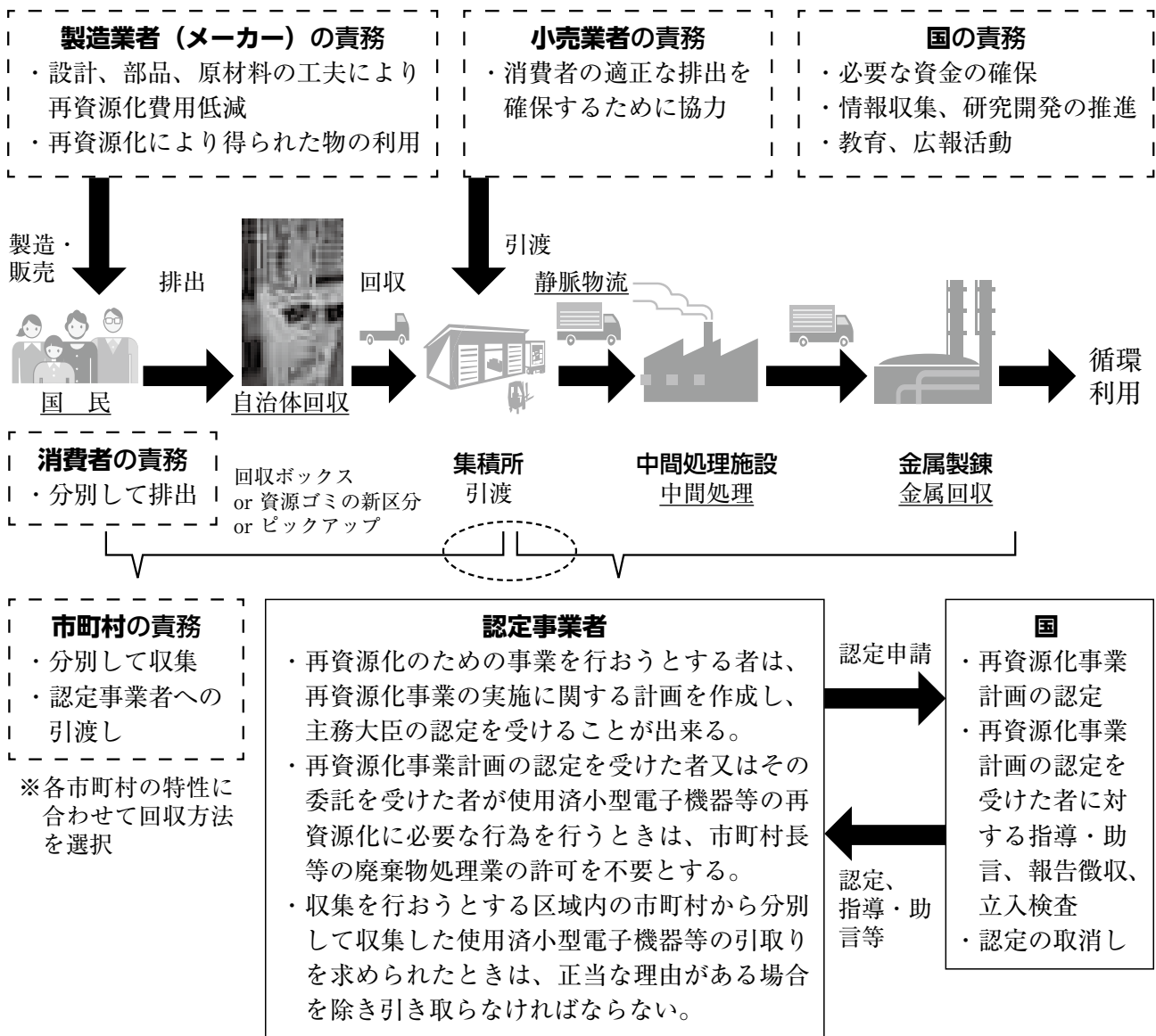
市町村等が回収した使用済小型電子機器等について、これを引き取り確実に適正なりサイクルを行うことを約束した者（リサイクルをしようとする者で構成される）を国が認定し、廃棄物処理法の特例措置を講じる制度。

【対象品目】

一般消費者が通常生活の用に供する電子機器その他の電気機械器具のうち、効率的な収集運搬が可能であって、再資源化が特に必要なものを政令指定

【基本方針】

環境大臣及び経済産業大臣が基本方針を策定、公表
(内容) 基本的方向、量の目標、促進のための措置、個人情報保護その他配慮すべき事項 等





岡山県の産業廃棄物の排出及び処理状況について

岡山県では、平成24年2月に第3次岡山県廃棄物処理計画（平成23～27年度）を策定し、産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用（再使用、再生利用、熱回収）の推進を循環型社会の形成に向けた重点施策として取り組んでいくこととしている。

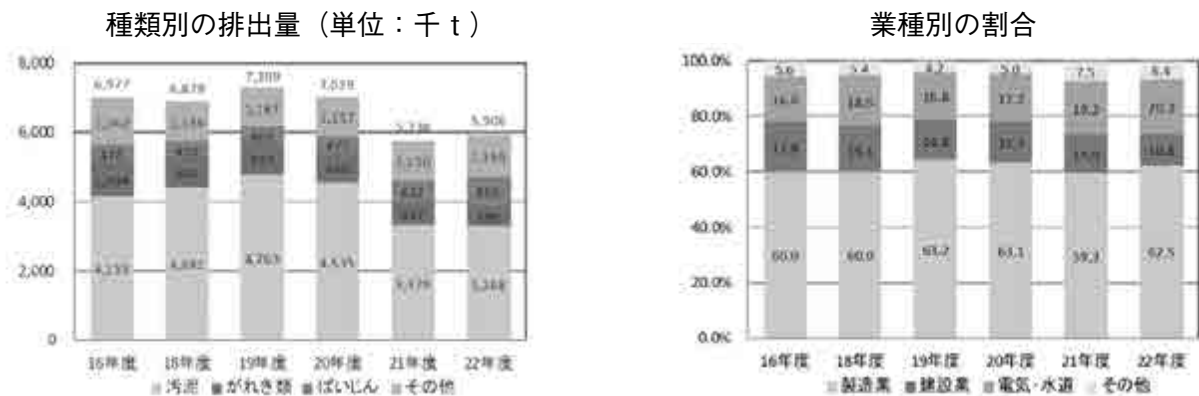
項目	産業廃棄物の再生利用等の目標 (目標年度：平成27年度)	現 状 (平成21年度実績)
排出抑制	排出量をおおむね6,000千トン／年とすることを目指します	5,738千トン／年
リサイクル	リサイクル率を39.1%とすることを目指します	36.7%
最終処分量の削減	最終処分量を305千トン／年とすることを目指します	335千トン／年

なお、近年の県内事業所で発生する産業廃棄物の排出及び処理状況については、次のとおりである。

1 排出状況

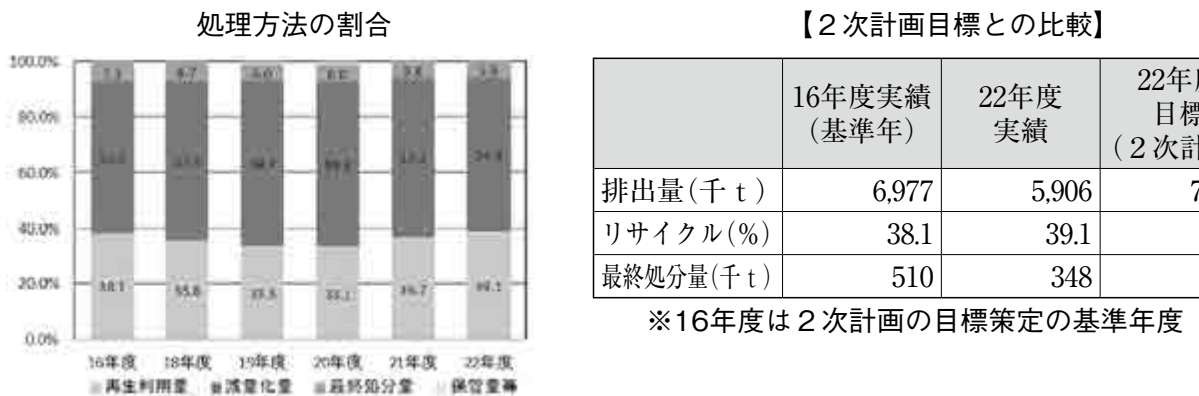
平成22年度の排出量は5,906千tであり、第2次岡山県廃棄物処理計画（平成18～22年度）（以下「2次計画」という。）の目標7,000千tを下回った。

種類別では汚泥の排出量が最も多く、業種別では製造業の占める割合が高くなっている。



2 処理状況

平成22年度の再生利用量は2,310千t（排出量の39.1%）であり2次計画目標の39.0%を上回った。また、平成22年度の最終処分量は348千t（排出量の5.9%）であり、2次計画目標の410千tを下回った。



地場産業（鉱山・精錬）関連基盤を生かしてリサイクル事業を創出 環境に優しい金属リサイクル産業（資源循環型社会）に変身 平成24年度優良施設視察研修会（宿泊）に参加して

水島エコワークス株式会社 石原直人

11月15日（木）から17日（土）にかけて2泊3日で秋田県小坂町の「あきたエコタウン」視察研修会へ参加しました。今回の研修は空路（岡山・羽田経由・青森）での往復、宿泊は青森、現地の移動は貸し切りバスという段取りで、参加者22名（旅行会社添乗員1名含む）で無事に終了。

11月16日（金） 9時30分～12時 あきたエコタウン視察

エコタウンセンター案内人から「あきたエコタウンの概略・歴史」及び当日の視察先の説明をDVDなど見ながら受講。



小坂精錬の歴史

江戸時代末期（1861年）に銀鉱石を発見、明治17年（1884年）に大阪の財閥藤田組へ払い下げ、明治33年（1900年）に世界で初めての黒鉱（複雑硫化鉄）の自溶解精錬法の確立。その後日本の近代化へ大きく貢献するも昭和50年代には輸入品に押されてその役割は終り、平成2年（1990年）に閉山。しかしながら、平成に入り国、県、小坂町及び小坂精錬を所有するDOWAグループで鉱山・精錬技術を活用した金属資源のリサイクル技術をもとに、非鉄金属資源の循環型社会システムの構築を目指し、平成11年（1999年）に秋田県北部エコタウンとして国の承認を得た。更に平成20年（2008年）に新リサイクル専用炉を完成し、昨今特に注目されている都市鉱山（家電製品の基盤、携帯電話の基盤など）から多くの非鉄金属を回収しているとのこと。銅は年に10千t、金は年に5tは回



収しているとのこと。

エコタウン見学

- ・小坂精錬：原料ヤード車中見学（家電の基盤らしきものをヤード塀越しに見る）
- ・誓いの記念碑：平成18年の同和鉱業株式会社の吉川社長による小坂地区の環境汚染産業からの離脱と循環型社会の構築を目指す「誓い」の碑を見学、小坂精錬関連施設を一望。
- ・グリーンフィル小坂：東京ドーム2杯分の埋立能力を有する一廃・産物の管理型最終処分場を見学（関東圏から放射能汚染焼却灰の受入れを開始する模様。国の基準では8,000ベクレル以下であるが、地元との協定で4,000ベクレル以下とし、実際には2,000ベクレル以下となるとのこと。最



近ようやく地元と話がついたとのこと)。埋め立て処分の期間は平成44年（2032年）末まで。

・オートリサイクル秋田：自動車の解体及びシュレッダー設備の見学。

12時頃にエコタウンセンターにもどり、あきたエコタウン視察は終了。

今回のあきたエコタウンの視察で明治・大正・昭和の日本の近代化産業の栄枯盛衰を鉱山・精錬会社の歴史を通して垣間見させて頂いた。しかしながら、平成に入っの時代のニーズに沿った非鉄金属リサイクル事業への転換により関連産業を含む地域産業の振興も図られ、現在では日本のみならず世界から注目される最先端をいくリサイクル産業地区であることを勉強させられた。



エコタウン視察前後の観光・懇親会

11月15日（木）

青森空港到着時は天気予報どおり、曇り時々雨、気温は5～6度であり、バスに乗り換えるとき北国へ来たことを実感。バスでは津軽弁が時々入ったバスガイドの案内を聞きながら「ねぶたの里」へ到着。毎年8月初めの「ねぶた祭り」で使われた優秀作品を見学し、ねぶた運行体験、ねぶた囃子に合わせた跳人（ハネト）などを体験。その後バスにて宿泊ホテルへ。18時頃から青森市内の日本料理「百代」で懇親夕食会。

11月16日（金）

あきたエコタウン視察後、バスにて弘前へ移動、昼食後藤田記念庭園を見学、さらに紅葉真最中の弘前城を観光した。青森への帰途、道の駅へ立ち寄り最盛期



のりんごを各人購入し多くは宅配便にて岡山へ送った模様。宿泊ホテルへ帰着後、青森市内のワシントンホテル内「三十三間堂」にて最後の懇親夕食会。

11月18日（土）

9時前にホテル出発、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸を見学、青森観光物産館アスパムでショッピングをし、青森県立美術館で奈良美智（ナラヨシトモ）展、棟方志功の作品などを見学、さらに三内丸山遺跡資料館を見学して昼食。その後青森空港へ移動して帰路へ。

終わりに

今回の視察研修は青森・秋田ということで大いに楽しみにしていた。福島県以北の県へは北海道も含めて行ったことがないという個人的な理由があったこともある。季節的には寒いかもしれない、天気予報も雨交じり、いつ雪になってもおかしくないという時期ではあったが、意外と寒くなく小雨程度ですみ青森・秋田の旅を満喫させて頂いた。

最後になりましたが、岡本会長はじめ参加各社の皆様、今回の視察研修を企画された事務局の方々に深く感謝いたします。



平成24年度第2回中国地域協議会開催

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の第2回中国地域協議会正副会長・事務局
長等会議が開催されました。

1 日 時 平成24年10月10日（水） 午後2時30分～午後5時30分

2 場 所 ホテルグランヴィア広島 広島市南区松原町1-5

3 出席者

連合会：石井邦夫会長、青木啓一総務部長、藏本忠男前副会長、川本義勝前理事

連合会政治連盟：國中賢吉理事長

厚生年金基金：森達也常務理事

岡山県：岡本靖磨呂会長、横田一夫副会長、大塚雅司副会長、内田篤志副会長

稲村義博専務理事兼事務局長

広島県：小川勲会長、木吉栄副会長、長瀬充良副会長、前田忠顯副会長、

三谷哲也副会長、山本誠専務理事、

山口県：吉本勝利会長、榎本隆博副会長、眞鍋啓介副会長、

阿部吉明専務理事兼事務局長、喜井鶴澄事務局次長

島根県：福代明正会長、安田幸伸専務理事

鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事兼事務局長

4 議 事

中国地域協議会正副会長・事務局長会議の開催にあたり、幹事県の山口県協会の吉本勝利会長が
開会の挨拶、続いて、来賓として全産連の石井会長と全産連政治連盟の國中理事長が挨拶をした。

また、全産連の青木部長、厚生年金基金の森常務理事を紹介した。

地域協議会の規定により吉本会長が議長となり、最初に森常務理事から全国産業廃棄物厚生年金
基金についての説明を受けた後、議事に入った。

(1) 議 題

- ① 産業廃棄物処理税の見直し等について（岡山県）
- ② 東日本大震災に伴う災害廃棄物の広域処理について（山口県）
- ③ 刊行本「廃棄物処理法のポイント」の監修について（山口県）

(2) 情報交換等

- ① 全産連第9回理事会の概要について
- ② 環境配慮契約法の動向について
- ③ 総会、研修会における特別講演について
- ④ その他

・平成24年11月22日開催の第8回全国産業廃棄物連合会全国青年部協議会全国大会「岡山大会」
について

・石膏ボードの処理について

・鳥取県倉吉市で平成24年10月24日開催の全産連主催の産業廃棄物処理実務者研修会について

会議の概要は以上のとおりですが、中国各県協会の活動状況等についても活発な意見交換が行われ、
有意義な会議となりました。



平成24年度優良施設視察研修会に参加して

日帰り研修会開催 10月30日（火）

日本エクスラン工業株式会社 西大寺工場 田中 敏郎



岡山県産業廃棄物協会の本年度の日帰り視察研修が10月30日（火）に行なわれました。本年度は、徳島県三好市にある「株式会社 明和クリーン」の、焼却施設や破碎施設を含めた管理型最終処分場の施設を見学しました。

早朝7時30分にバス2台に分乗して岡山西口を出発。車内で岡本会長より「直接・間接的に我々にも関わりがある処分場の見学であり、しっかりと勉強し知見を拡げてほしい。また、行楽シーズンでもあり紅葉を楽しみ、有意義な一日としてほしい。」との挨拶がありました。

徳島自動車道の井川池田インターチェンジから国道32号線を経由して山間の道を5キロメートル、時間にして約20分走った山間部に広大な最終処分場がありました。道路は大型車のすれ違いが場所によっては出来ない程の道でしたが、路肩には「とばさないでね」「静かに走ろうね」とか「地元車優先」などの看板がいたるところに立てられており、地域住民の方への配慮、気遣いが感じられました。



徳島自動車道の井川池田インターチェンジから国道32号線を経由して山間の道を5キロメートル、時間にして

約20分走った山間部に広大な最終処分場がありました。道路は大型車のすれ違いが場所によっては出来ない程の道でしたが、路肩には「とばさないでね」「静かに走ろうね」とか「地元車優先」などの看板がいたるところに立てられており、地域住民の方への配慮、気遣いが感じられました。

処分場は、埋立地面積37万㎡、埋立容量53万㎡の広大な規模で、そこから出てくる排水の処理設備も、処理能力80t/dの活性汚泥処理法による処理設備と消化脱窒方式+膜分離方式による2系列の処理施設が設置されており、昨今のゲリラ豪雨時にも対応可能とのお話でその管理

体制も徹底したものとなっており「いつでもきれいな水」となって放流されています。

また、リサイクルにも取り組まれており、廃パレットや建設廃材に関しては、選別後チップ状に破碎しボード会社にてリサイクルされているとのことでした。また、選別後リサイクル出来ない廃棄物は、自社の焼却炉で減容化されました。この様に収集運搬から最終処分場までの廃棄物処理工程の一貫した取り組みがなされており、受入した廃棄物の適正処理とともに、リサイクルを柱とするコスト低減策にも努められていることを知ることが出来ました。



一方、地域貢献として、少年野球大会への協賛、地元小学生の見学会や道路の清掃活動など多くの活動も行なわれているとの事でした。

参加者が普段疑問に思っていることや岡山県内の処分場や施設と比較するなど、それぞれの立場で多くの質問が行なわれ、予定した時間をオーバーすることとなりましたが、(株)明和クリーンの関係者の方から、それぞれの質問に丁寧に答えていただきました。帰りには、従業員の皆さんのお見送りもあり、心のこもった対応を頂いたことに感謝し処分場を後にしました。

昼食後、祖谷のかずら橋を渡り、色づきはじめて木々の紅葉を見ながら秋の深まりを実感し、思い思いのお土産を手には乗込み帰路につき、参加者全員怪我もなく今年の日帰り研修を終えました。以上



処理法による処理設備と消化脱窒方式+膜分離方式による2系列の処理施設が設置されており、昨今のゲリラ豪雨時にも対応可能とのお話でその管理

「災害廃棄物の速やかな処理を目指して」

—第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して—

内海産業株式会社 松本 俊成

開催日：平成24年10月26日（金）
開催場所：ホテルニューオオタニ
（東京都千代田区）

主催：（公社）全国産業廃棄物連合会
（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
（公財）産業廃棄物処理事業振興財団

後援：環境省、東京都

岡山県協会から大塚副会長、松本常任理事が参加した。今回の全国大会は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の復旧・復興の状況を踏まえ、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理等について考えることを趣旨として開催された。

まず、主催者を代表して、連合会の石井邦夫会長があいさつをした。次に環境省大臣官房廃棄物・リサイクル部長の梶原成元氏が来賓としてあいさつをした。

続いて、環境大臣表彰式典に移り、全国の18名が受賞した。基調講演は前出の梶原部長が「災害廃棄物処理の現状と課題」というテーマで行った。

休憩を挟み、「災害廃棄物の速やかな処理を目指して」というテーマでパネル討論会が行われた。



今回の大会に参加して、終始話題となったのが、災害で発生した廃棄物は、いわゆる一廃に分類され、性状等は産廃に近いものであるのに産廃業者が処理できなかったことである。「災害廃棄物」という新しいカテゴリーを作り、一廃・産廃業者が直ちに処分を行える体制づくりが必要だという意見が多く聞かれた。

国は平成26年3月を目処に、この度の災害で発生した廃棄物処理を終わらせるということであるが、我々業界の技術力と広域的協力体制が問われるところである。

最後に、被災地では「我歴」と書いて「ガレキ」と読むとのこと、胸が詰まる思いです。



いちめんの 菜の花

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

宗教・民族紛争真ただ中

中国・甘粛省、青海省、新疆ウイグル自治区の山奥を巡って、それなりの成果を得てはいた。しかし、エベレストの山懐に位置する高山帯・チベット自治区の調査・踏破を成し遂げずして、我々の真の目的：幻のパルナシウスを極め、知ったことにはならないと、ずーっと思ってきた。

そのため、青海省の調査（2007年）を果たして以来、何度かそのチャンスを覗ってきた。

ある年は大洪水で、またある年は隣接自治区の政治不安で、そして昨今は民族の独立・自治権抑圧・チベット仏教大弾圧への大規模な抗議行動が（尖閣問題などへと国民の目を反らせたり、徹底した情報操作によって、国民や我々にはほとんど知らされてはいない）顕著化していて、何度もトライしてはみたものの、この地域への入域ビザが下りず、やむ無く計画の変更を余儀なくされてきた。

チベット高速鉄道開通のせいもあり、2012年初頭、州都ラサまでなら何とか入れるようになっていて、商用や観光目的での入域は幾分か緩和されていた。

そこで入山の可能性を期待して再度の計画を組んだ。

四川省成都から、チベットの州境を走る大山脈である。この山脈はエベレストにも繋がっていて、5000から6000メートル級の高峰が林立している。



世界の巨大河川が尾根を接して流れる地・昌都（チャムド）へ

そこには、世界の大河川：長江（揚子江）、メコン川、サルウィン川（怒江）などの巨大河川の急流が尾根を接して流れていて、容易に近づくことが困難な場所となっている。

下流にある麗江、大理、シャングリラなどは、観光スポットとして有名になっているが、その奥地は、その険しさ故に道路事情も悪く、まだまだ秘境として残されている。

2008年には北京オリンピックも開催され、外国人への対応も比較的寛容になってきていた。もっとも、その翌年に訪れた天山山脈調査では、そこがゲリラ、テロリストが出入りする国境地帯だったり、運悪く暴動の1周年に当たっていたこともあって、非常に厳しいチェックを受け、気分を害してしまった。

しかし、今度は国境ではない四川省とチベットの州境である。今年こそは何とかなるのでは？との淡い期待があった。

ところが、である。昨年暮れ以来、ダライラマを信奉するチベット仏教徒の復権運動に対する弾圧が厳しくなっていた。それに抗議するように、周辺地域に住むチベット族住民・僧侶たち（特に、甘粛、青海、四川省）からの激しい抵抗運動（焼身自殺を含む）が繰り広げられはじめ、それを抑え込もう・外国人には知られまいとする中国共産党政府の規制・弾圧も日ごとに厳しくなっていて、

淡い期待も虚しく、我々のチベット州境の調査・踏破もしばらくは諦めざるを得なくなりました。

お誘い

2010年、天山山脈調査を行ったメンバーの一人、近田先生から天山山脈の西端・キルギスの山々を巡る花のツアー旅を企画するので、いっしょに行かないかとの、お誘いを受けた。天皇・皇后両陛下へのご進講、皇居の自然保護や生物調査・案内役もされている他、中国新疆ウイグルの天山山脈一帯の植物の権威・第一人者からのお誘いである。昆虫も採って良いとの国（キルギス）からの誘いである。2-3000メートル級の峠も越えるという。大いに心が動いたけれど、植物大好きのおばさん達中心のツアーでもあるらしい。何しろ我々の目指す旅は、観光一切なし。前人未到とは言わないまでも、秘境をとにかく歩きまわり、高山を駆け回ることを良しとしている。

次のお誘いは、パルナシウス大好き・青海採集仲間の菱川氏、そして蝶の師匠格の建石氏からの誘いである。目的は共に、高山の舞姫：パルナシウスの調査旅である。



垂涎的エンペラー（左）
巨大赤紋オオアカボシ（右）

しかも一方は誰も見たことのない珍貴種を、もう一方は中国パルナシウスは初めて。ともかく3色紋の揃った美麗種が目的であるため、それを両方とも実現させるのは難しいものだった。

何はともあれ、秘境探検には信頼できる地元案内人の確保が最優先。そこで、先年甘粛、青海旅でお世話になった楊さんに連絡を取ったが、目下



いつかはあの中へ（平成18年7月）、あの山へ。
大坂山峠（3,000m）より見た門源花の海（日中カメラマンの競演）

外国出国中とのことで、良い案内人の目処が立たないことが分かった。そのため、メンバー全員のこれまでの経験、知識、能力をフルに発揮した旅を考えざるを得ない状況となった。

菱川・河邊組みは、これまでに青海省-甘粛省の北奥のパルナシウスのポイントを探索しているが、その奥には不便さ故に、これまで日本人はほとんど入山出来ていないパルナシウスの宝庫とも言われている、チーレン山脈があることを知っている。

近くまで入った仲間から情報が得られ、安心できる運転手を紹介してもらった。

建石・大熊組みは、永年の商社勤めと趣味の昆虫採卵で、中国語も中国の旅にも精通している。行けば何とかなるだろう。総勢4人、気楽に出発することとなった。

観光客殺到、人民大移動

なぜか直前にホテルの変更があり、青海省の州都・西寧ではこれが3星かと疑われるほどお粗末な宿となっていたが、そんなことはこれからの秘



たどりついた門源の街は菜の花観光客歓迎一色に

境探索には関係ない。

我々は意気揚々、チーレン山脈へ北進した。

ところが、中国の大躍進を甘く見すぎていた。ここ3年の間に、中国は富裕層が急増し、その一部（・・と言っても、人口13億超の国である）が、長距離（1500-2000キロ）をものともせず、あるものは北京から、あるものは上海から、続々とこの新名所・甘肅の盆地へ車で殺到し始めていたものだから、確たる予約もせずやってきた我々は、この後しばしばその対応に悩まされ大苦戦する羽目になってしまった。

ウイグル自治区やチベットでのような国境地帯を歩くわけではない（地元牧童の目はあるものの）。近くに名所・青海湖のあるこの地では、おとなしく山歩きを楽しんでいる分には、誰からも咎められたり、密告されたり、手入を食らう心配は少ない。尖閣問題のある昨今でも、黙って歩いていれば分からないし（何となく分かるようだが）、ほとんど問題はない。個人的には友好的でもある。

しかし、中国人もゆとりが出てきたとはいえ、昆虫採集の趣味はまだまだ理解されていないし、自国の資源を盗んでゆく外人への不信は強い。岩だらけの山奥でネットを振り回し、観光地でもない所を徒党を組んで怪しげに歩いているその様は、まだまだ異様にしか思えないらしく、場合によっては（同じ場所に2度、3度行ったりすると）公安に通報されてしまう。

そのため、我々は人眼につかない山影、山の奥地を選ばなければならず、うようよと這いまわっている中国人の好奇の目を避けることは至難でもある。

パルナシウスの時期、場所がまず問題だった。幻のパルナシウスにお目にかかるには、高山植物の花ざかりの季節でもある6月の下旬から、7月中旬がベスト。まだまだ、高山植物を愛でるために、苦勞して山に登ってくる中国は少ないのだけれど、それでも高山へ、雪を見に登ってくる、変



薄日の中4,000m娘娘山で、惨敗
（日光の下でしか高山蝶は飛ばない）

わった？中国人も増え始めている。

今年の中国の天候も不安定のようで、先発組の多くが天候に恵まれず、涙を流しているという。

前日は薄日の中、先年大収穫を経験した娘娘山に入ったものの、寄る年波？天候？発生時期のせいで？か、ろくな成果もあげられず、下山している。

その後の天候は下り坂。それでも、これまでこの周辺では悪天候を経験したことは少ない。滞在4日の間には、1日くらいは何とか晴れて、チーレン山脈の奥地・高山帯を歩きまわれば何とかなるに違いない、と思った。

宿の確保

今回の登攀基地は、前回の旅でその前衛から眺めた、チーレン山塊の麓、驚嘆するほどの広大な（淡路島に匹敵するほど）菜の花畑のあった門源である。ここは養蜂業者以外、ほとんどの日本人



日本企業による技術指導。ロイヤルゼリーの大生産地に



純ビーボウレン（花粉）500円、ハチミツ400～600円、
ロイヤルゼリー 1,500円（約1ℓ）

が最近まで、その存在さえ知らぬ片田舎だった。旅行社にさえその存在が知られていないため、予め予約することは難しい。そこでやむなく飛び込みになってしまう。ところが、この時期は高原の盆地では遅い菜の花の満開の時期で、街を挙げての花祭りの週間にも当たっていて、やっとたどり着いた門源の街では、めぼしい宿に断られ続け、貴重な半日を大苦戦してしまった。

幸い一軒だけ空いていて、確保できた時にはすっかりくたびれ果ててしまった。

それでも我々は運が良かった。週日だったことが幸いしたようだった。

奥地へ、奥地へ、そして…

翌日はやはり曇天。パルナシウスは飛ばない。それでもその後の成果を期待して、ロートル4人組は、可能な限り3-4000メートルの山塊（峠がベスト）に横付けし、採集が出来、そして人眼の少ない安直コースを探し回った。

予め調べておいた衛星写真と地図、運転手の情報、勘を頼りにチーレン山脈のベストポイントを探し回った。

がたがた道を何とか突き進み、渓谷の最奥にまで進めたポイントにも、13億人の一端が徘徊している。最上のポイントかもしれない岩の斜面を恨めしく眺めるだけで、派手な行動は出来ない。別のポイントを探し、山脈沿いを走るも、その



高原は果てしなく広く、我々の望む岩場・ガレ場には容易に近付けない。

かつて何日もかけ

好ポイント発見
（ここにも13億の民の一部が…）

て突き進んだカシュガルの奥地、砂と泥のパミール盆地とは違って、多様な花々が咲き乱れる草原ではあるが、そこには普通種しかいない。

しかも、天候も優れない。



美女と菜の花
（これも中国）

1日目も2日目も、走り回って徒労に終わっていた。天気予報は大成果（高山蝶は晴天下でなければ飛ばない）を期待するには芳しくない。

どうやら、高山植物（幻・貴重種ではあるが）を観察し、類をみないほどの広大な菜の花畑の世界を楽しみ、45度の白酒（パイチュー）で憂さを晴らす以外、なす術がなくなってきた。

先年は、この巨大菜の花畑盆地を手前の山の上から驚愕して眺め、是非この中を思う存分走ってみたいとは思ってみたが、それがこうして飽きるほど浸れてしまうとは！！



どこまでも いちめんのなのはな、いちめんのなのはな。

走りつかれ、探し疲れ、走り疲れて宿に戻る道すがら、我々は今や中国の一大観光地と化しつつある（何と1-2年後には、この畑のど真ん中を高速新幹線が走るという）、その菜の花高原の真ただ中で、花の海・一面の菜の花海を満喫し、慰めるしかなかった。

今、山村慕鳥がこの中国的花の海を前にしたら、一体どのように表現するだろうか？



盆地のド真中を新幹線が延びる

備北
支部

新見地域環境クリーン作戦

平成24年11月8日（木）、新見地域環境クリーン作戦が行われた。当日は曇りで11月初旬とはいえ肌寒い天候でした。



今回のクリーン作戦は、環境保全協会、新見市、環境衛生協議会、備中県民局、町内、JR職員すべての人が参加しての作業で協会員併せて91名での作業となりました。

今回も備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。



産廃協会員の参加は10名ほどでしたがこのジャンパーのおかげで誰がどこにいるのか一目瞭然で艶やかな青色ジャンパーが協会員の参加をさり気なくアピールすることも出来ました。

作業箇所は国道180号広石橋付近の川沿で行われました。今回は川沿いに線路が走っているためJR職員も参加となりました。

今回のクリーン作戦現場は川沿いから3メートルに渡る斜面でゴミを手作業でひとつひとつバケツリレーで丁寧に拾い上げました。

ゴミの内容は空き缶、コンビニ弁当、洗濯機、自転車などであつという間に用意した4トンダンプに一杯となりました。

今回は参加人数が多く、また参加者の皆さんの手際のよい作業のためあつという間にゴミまみれの場所はきれいになりました。



今回は地域の人の協力のもと事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



井笠

支部

第15回 井笠地域環境クリーン作戦実施

- ・日 時 平成24年11月13日（火）
- ・実施場所 井原市岩倉町 2箇所
- ・参加人数 49名（協会員36名 外部協力者13名）
- ・参加車両 19台（2tダンプ、4tダンプ、2tパッカー、2tフック、8tダンプ他）
- ・収集廃棄物 可燃ゴミ（粗大ゴミ込）：井原クリーンセンター
処理方法 不燃ごみ（粗大ゴミ込）：井原リサイクルセンター
タイヤ・家電・その他（がれき類等）：井原クリーンセンター下倉庫
- ・立看板の設置 作業終了後、廃棄物が多かった箇所に再発防止啓発のため立看板を設置



今年も昨年同様、井笠地域環境クリーン作戦を実地しました。

地域住民の方や県・市職員、も参加し 岩倉地域2箇所、山の斜面に捨てられた、冷蔵庫洗濯機等の家電製品や廃タイヤ、金属類その他布団などの大きなゴミや空き瓶、ペットボトルなどを回収し、分別後に収集車やトラックへ積み込みました。



この日、集められたゴミの量は85トンでした。不法投棄がなくなり、こうした活動が、不要になる日まで、共に頑張りたいと思います。

最後に、お忙しい中ご参加くださった大勢の皆さん、ご協力ありがとうございました。

東備
支部

東備支部クリーン作戦吉永八策

平成24年11月15日（木）に総勢32名でクリーン作戦を八策どおり行い元の自然に戻すことができました。

1. 支部役員会で対象場所を協議すること。
2. 不法投棄場所を元の自然に戻すこと。
3. 回収車輛が出入りできるよう道を整備すること。
4. 放置プレハブハウス内のスズメバチの巣を駆除すること。
5. 回収作業を安全に努めること。
6. 県民局環境課、県民局東備支局、備前市役所環境課、吉永支所、備前警察署、支部会員と連携を強めること。
7. 回収後分別して適正処理に努めること。
8. 再発防止のため啓発看板設置と地区の人と相談して進入路を断つこと。

この八策により備前市吉永町加賀美の山中は元の素晴らしい環境に戻すことができました。

ご多用にもかかわらずご協力いただきました皆様には感謝の気持ちで一杯です。これからも「不法投棄みどりの山が海が泣く」を合言葉に支部活動を続けます。

（駆除したスズメバチの巣）



（朝礼）



参加者：岡山県備前県民局環境課職員

岡山県備前県民局東備事務所環境課職員

備前市環境課職員・吉永支所職員

備前警察署生活安全課職員

（一社）岡山県産業廃棄物協会本部

（一社）岡山県産業廃棄物協会東備支部会員

（五十音順）

石田商店・エスク岡山(株)・カワダ建設(株)・金平鉄鋼(株)・キョクトウ(有)・コーワン(株)・(株)桜商事運輸・(株)山陽精油所・昭和開発(株)・(有)豊田建運・日生運輸(株)・横山商事(株)・(有)和気環境サービス

第18回 津山支部地域環境クリーン作戦

1. 実施日時 平成24年11月21日（水） 8：30～11：30
2. 実施場所 津山市高野本郷
3. 回収量 可燃ゴミ4 t、不燃ゴミ9 t



今年のクリーン作戦は津山市高野本郷にて行われました。当日は、多少肌寒さを感じる天候の下、美作県民局から6名、津山市から11名、地元の方々が9名、そして支部会員28名の総勢54名に参加いただくことができました。8：30より開会式を行い、ラジオ体操で体をほぐしたあと早速現場に向かいました。



現場は片側が谷になっている山林で、斜面に沿って広範囲に、ビン、缶、ブロックなどの他、衣類、廃家電、そして古タイヤといったものが不法投棄されていました。参加者全員に軍手と、不燃用・可燃用とに分けられたゴミ袋が配布され、いよいよ作業開始です。

全員で斜面を下り、袋を手にゴミを回収していきます。割れたガラスなど危ないゴミはプラスチックケースに集め、一人では持てない廃家電や



タイヤなどは、リレー方式で上まで運びました。かなり昔から不法投棄が行われていたのでしょうか、ゴミを掘り起こすとその下から他のゴミが湧いてきます。しかし、パワフルな参加者の方々に元気をもらい、一所懸命作業を続けました。

この日は可燃ゴミ4 t、不燃ゴミ5 tの計9 tを回収し、会員各社と津山市からご協力いただいたトラック7台、ユニック車2台に載せ、11時半頃作業は終了しました。来たときには、ゴミで埋め尽くされていた山林でしたが、元の自然に戻すことができました。

話では、不法投棄されている場所はここ津山近辺でもいくつもあるようです。不法投棄は、「これくらいならいいや」と誰かが軽い気持ちでゴミを捨てたことから始まり、「他の人もやっているからいいだろう」と誰かが続けた結果だと思えます。ゴミは決められた方法に従いきちんと捨てられさえすれば、リサイクルや熱回収を経て、適切に処分されます。多くの人にこのことを知ってもらい、不法投棄がなくなってほしいと思った一日でした。

ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。





第19回倉敷地域クリーン作戦

実施日時：平成24年11月27日（火曜日）午前9時開始

実施場所：倉敷市玉島穂井田陶地内 増原池周辺

参加人数：総勢72名

倉敷支部会員 23業者52名

倉敷市環境リサイクル局 6名

（環境衛生課 2名・一般廃棄物対策課 2名）
（産業廃棄物対策課 2名）

玉島支所（市民課環境衛生係・産業課） 3名

倉敷市環境衛生協議会穂井田支部11名

参加車両：2 t ダンプ車・4 t ダンプ車 合計6台

回収した廃棄物：2,500kg



今年も寒空のもと、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会倉敷支部主催による倉敷地域クリーンアップ作戦を実施しました。

車中から景色を眺めると、紅葉で色づいた木々と緑を太陽からの光により反射された色合いがかなりの絶景!!”こんな所にゴミがあるのか?”と自問自答しながら・・・関係者が集結。

平成6年の第1回目から今年で19回目ともなる活動の開始前に、AM9:00 倉敷支部長である室山宣英からの開始前の挨拶。

岡山県産業廃棄物協会本部より岡本靖磨呂会長、倉敷市環境衛生協議会穂井田支部白井支部長よりねぎらいのお言葉を頂戴し、作業開始。

池の近くに歩いて行くと、先ほどの車窓の絶景とは思えないほどのゴミの山! 全員で力を合わせ、道中にゴミの分別をしたり、池の中からゴミを運び上げたり・・・実は、この場所には以前から立て看板が設置してあります。

『捨てるな! ここへゴミを捨てるのは法律違反です。違反した者は法により罰せられます』それでも、このありさまです。

今回の作戦では『不法投棄 みどりの山が海が泣く!』と『不法投棄 罪もモラルも地に果てる』という2種類の看板を設置しました。もう罪とか罰とかという次元ではなく、一人一人の常識ですね。このような美しい景観を少しでも多く残せるように、そして私達はこれからもクリーン作戦を通じて啓蒙活動に努めて行きます。

趣味のコーナー

人生、楽しんで行きましょう!

中野開発 (株)

(株) エースエンター 21 代表取締役 **中野 治**

私の建設業の経歴

父 中国土木 中野班 (現 アイサワ工業)

昭和38年 父死亡後、昭和45年12月に会社設立。現在43期目です。建設業がここまで不景気になるとは。底が見えませんね。

高度成長の良い時代もありましたね、悪い時代もありますよね。皆さん、これからもしっかりと頑張りましょう。



30年前から乗っていたホレスター・パジェロ3500ccと、今回新たに購入したエアストリーム25F (アメリカ別注品) ベンツグレンデAMG。(連結全長 14m弱) 南備建設の難波社長と北海道にて…7月にもかかわらず、10℃くらいに感じる。地元の友人はタンクトップに短パン。2ヶ月をかけて苫小牧-追分-夕張-釧路-阿寒-羅臼-知床-網走-猿払-稚内-宗谷-旭川-札幌-小樽-仁木町-洞爺湖-支笏湖-函館-大間から本州縦断と、約9,000kmの旅となりました。人生、楽しんで行きましょう!



人間国宝 金重陶陽の作



桃山時代 お預け徳利



江戸時代白備前細工物
渡辺勝政 作



平櫛田中作 木彫

父が収集した品を一部受け継ぎ、美術品収集が私の生涯の趣味となりました。(所蔵総数3,000点余)



火縄銃



鎧



日本全国の美術館へ嫁入りさせた美術品に会いに行くのも楽しみの一つとなっています。本年が会員の皆様にとって良い年となりますよう。頑張ってください!

第8回親子エコツアー

青年部会では毎年恒例の親子エコツアーを8月25日（土）に実施しました。8月最後の土曜日であったためか、応募者数は136名と例年に比べて少なく、厳正な抽選により84名37家族の参加となりました。



かそれとも環境に対する意識の変化かわかりませんが、産廃か一廃かの簡単なクイズや収集運搬車両車名を当てるクイズについて、正解率が非常に高く、企画をしている我々も驚かされるばかりでした。一生懸命勉強した後は余興のマジックショーを行い、子供達に笑顔を届けました。



実施内容は昨年と同様、「パナソニックエコテクノロジーセンター(株)での家電リサイクル工場見学」と「三木ホースランドパークでの環境学習会」をセットとし、A班、B班の2班に分かれて実施しました。



熱心に耳を傾け、真剣な眼差しで見学される皆さんの姿を拝見すると、このような環境学習を開催して良かったと思うと共に、子供たちが引き続き産業廃棄物や、リサイクル、地球環境の問題について関心を持ち続けて頂ければと思います。

今後とも、我が青年部において若い力を結集してさらに積極的に啓蒙活動していきたいと思えます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



兵庫県加東市にあるパナソニックエコテクノロジーセンター(株)は家電リサイクルを目的とした国内最先端の施設で、不要になったテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機といった家電製品がどのようにしてリサイクルされるのか、親子そろって興味深く見学していただけたようでした。

三木ホースランドパークでの環境学習では、木下副会長によるプレゼンテーションがユーモアたっぷりに行われました。我々の環境学習の効果



第8回全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 全国大会 in 岡山

(一社)岡山県産業廃棄物協会 青年部会 会長 畑 英男



開会挨拶

平成24年11月22日（木）に岡山プラザホテルにて 第8回全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 全国大会 in 岡山「晴れの国から情熱を!!」が開催されました。

全国各県の青年部会員の登録人数はなんと550人にもものぼりました。

第1部オープニングセレモニーでは、岡山県出身のシンガーである まきちゃんぐ さんを迎え、音楽と映像を融合させたすばらしい開会式が行われました。来賓には、岡山県知事をはじめとして岡山市長、全国産業廃棄物連合会 石井会長、(一社)岡山県産業廃棄物協会 岡本会長 他、大勢の皆様にお越しいただきました。

第2部では、全国産業廃棄物連合会 中国ブロック青年部協議会 記念事業「小学生の環境学習 公開授業」を行いました。我らが岡山県産業廃棄物協会 青年部会 木下副会長が講師となり、岡山市立旭竜小学校の3・4年生 約80名及び保護者の皆様にご参加いただき、約1時間の環境学習を行いました。参加してくれた小学生の皆様からは、楽しく勉強ができたと喜んでもらうことができました。



環境学習

第3部は、全国産

業廃棄物連合会 青年部協議会 記念事業「CSR2プロジェクト」の表彰式および「CSR47総選挙」が行われました。



第4部大懇親会では、岡山県出身の鼠先輩が司会を務め、岡山

岡山協会青年部会
畑会長

ご当地アイドルS-Qtyのライブや第3部で行われた「CSR47総選挙」の投票結果が発表され、最優秀ブロックは「九州ブロック」に決定いたしました。九州ブロックの皆様には賞品として、中国ブロック各県青年部会長より中国ブロック5県の特産物、なんと総額10万円相当を贈られ、大変喜んでいただくことができました。

また、CSR2プロジェクトのテーマソングである「同



まきちゃんぐさんによるオープニング

じ時代 同じ夢を」を岡山県出身の米重優哉さんに歌っていただきました。また歌手の上田正樹さん、滝ともはるさんが急遽会場に駆けつけて下さるサプライズに会場は大盛り上がりでした。

最後に、全国産業廃棄物連合会 中国ブロック青年部協議会 木下全国大会実行委員長が、皆様への御礼と閉会の挨拶を述べられました。その後今日1日の全国大会にご参加いただいた皆様の様子を纏めたDVDが流れ、大変感動いたしました。

全国大会を開催するにあたり、(一社)岡山県産業廃棄物協会の皆様には多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、岡山県青年部会の皆様には全員に参加登録いただき、さらに全国大会当日にはスタッフとして全国大会を盛り上げて下さり、本当にありがとうございました。

中国ブロック青年部協議会 全国大会実行委員の皆様。2年間本当に御苦労さまでした。

『全国大会 大成功!!』

新規入会正会員 紹介

(株) **だい 大 そう 総**

代表取締役 **み やけ くに ひろ
三 宅 邦 博**

<収集・運搬>

〒706-0151 玉野市長尾1206番地
TEL. 0863-71-6677 FAX. 0863-71-6688

[所属支部：岡山中央]

(株) **エヌコーポレーション**

代表取締役 **にし もと なお き
西 本 直 樹**

<収集・運搬>

〒708-0804 津山市勝部157-17
TEL. 0868-35-2412 FAX. 0868-35-2413

[所属支部：津山]

(有) **ふじ 藤 もと 本 くみ 組**

代表取締役 **ふじ もと ひで お
藤 本 秀 郎**

<収集・運搬>

〒709-0822 赤磐市岩田89-1
TEL. 086-955-2387 FAX. 086-955-2227

[所属支部：東備]

協会への入会勧誘のお願い

当岡山県産業廃棄物協会は、創設以来、産業廃棄物処理業者等の相互連携のもとに、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用等についての調査・研究・研修・指導・情報提供等幅広い事業を実施することにより、産業廃棄物の適正な処理を推進し、産業の健全な発展に寄与するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に大きな役割を果たしています。

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくためには、業界の方々が結束することにより、組織をより強固なものにして、共存発展することが肝要であります。

協会の増強については、協会及び関係機関において日頃、勧誘を行っているところではありますが、一般社団法人として組織率は、未だ十分とはいえないのが現状であります。少数よりも多数組織の拡充強化が、社会的にも発言力が強力なものとなり、説得力も増大し、業界発展の基礎になります。

1社でも多くの方が協会に入会されることが、更なる発展を期するための、必要な条件であります。

会員の皆様におかれましては、未加入処理業者へは正会員として、また、取引先の排出事業者には賛助会員として、是非ご入会の勧誘をお願いいたします。

【入会金及び会費】

	正会員		賛助会員
	収集運搬業		
	(車両2台以下)	(車両3台以上)	
入会金	30,000円		60,000円
会費	月額：4,000円	月額：6,000円	月額：10,000円 年額：50,000円

【入会方法】

入会には入会申込書及び業の許可書のコピーを提出していただくこととなっていますので、下記協会事務所へ電話などでご連絡いただければ、入会申込用紙をお送りいたします。

一般社団法人 **岡山県産業廃棄物協会**

〒701-1152 岡山市北区津高628-6 TEL：086-254-9383 FAX：086-254-8766



八塔寺山へのつづらおりの坂道をぐんぐん登ると突然視界が開け、山頂部にかやぶきの農家が点在するのどかな風景が広がります。標高400mの高原に開ける「八塔寺の村」。高野山に並ぶほど仏教が栄えたこの村も、今では戸数約13戸、ふるさと村のシンボリック存在の“カヤ葺き民家”と寺院からその歴史がほのかに漂う…そんな心あたまるのどかな景色の中を、時計を外してのんびり散策すれば、遠い昔にかえったようななつかしい思い出がいっぱい。八塔寺山からは、遠く南に瀬戸内海、北に中国連山の美しい眺め。付近には民宿・レクリエーション・レストランなどの施設も整備されています。また、映画“黒い雨”、テレビドラマ“八ツ墓村”や“火垂るの墓”のロケ地となったことでも知られています。(提供：有限会社豊田建運)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

巳年は、大きな事件が起こる年と言われています。

太平洋戦争の口火となった真珠湾攻撃も巳年でした。この様な大きな事件が起こらない事を祈るばかりです。

政権交替が成されましたが、景気が回復し、我々の業界にも明るい陽が差ししてくる年であることを切に望んでおります。

皆様にとってこの一年が良い年となりますように！

(T.M)

会報・くりーん岡山 第47号

平成25年1月25日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

山陽環境開発株式会社

代表取締役 岩元 博

〒七〇八―一〇〇〇三
新見市高尾二二三〇四―一
電話（〇八六七）七二―五四一五

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口 芳美

〒七〇八―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原字火の谷一〇八〇
電話（〇八六八）六二―二七七五

エコシステム山陽株式会社

代表取締役 横田 一夫

〒七〇八―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原一―二二五
電話（〇八六八）六二―一三四六

エコシステム ジャパン株式会社

代表取締役 永野 立男

〒一〇一―〇〇二二
東京都千代田区外神田四―一四―一
秋葉原UDXビル二二F
電話（〇三）六八四七―七〇一〇

坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂 申洋

〒七〇九―三六三三
久米郡久米南町山手六四五
電話（〇八六七）二八―二八一

末沢建設株式会社

代表取締役 末澤 由博

〒七〇八―一二二六
津山市押入一二二九―七
電話（〇八六八）二六―一二七三

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八―〇〇二三
津山市二宮八七〇
電話（〇八六八）二八―二〇五一

株式会社ユアツク

代表取締役 赤本 裕

〒七〇八―一五二三
久米郡美咲町吉ヶ原三九三―二
電話（〇八六八）六二―一五〇〇

有限会社久米産業

代表取締役 有本 英輔

〒七〇八―一五三四
久米郡美咲町藤原四六八―七
電話（〇八六八）六二―二二七五

JFE環境株式会社

倉敷営業所長 江田 健 吾

〒七二一八〇〇六

倉敷市連島町鶴新田二二七七―一

電話（〇八六）四四七―〇〇八一

株式会社日本リサイクル

マネジメント

代表取締役 檀野 和夫

〒二三〇一〇〇四四

神奈川県横浜市鶴見区弁天町三一

電話（〇四五）五一―一二九五―

有限会社藤充建設工業

会長 藤原 浩司

〒七二五一〇〇一九

井原市井原町三五五七―二九

電話（〇八六六）六二―〇七二二

水島エコワークス株式会社

代表取締役 岸田 修一

〒七二一八〇七四

倉敷市水島川崎通一―一四―五

電話（〇八六）四四七―三二五五

内田工業株式会社

代表取締役 内田 篤志

〒七二一八〇五二

倉敷市松江三一―二―四六

電話（〇八六）四五六一―五八八八

株式会社平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七二六一〇二〇七

高梁市川上町仁賀六二七

電話（〇八六六）四八―三五八八

株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川 悦生

〒七二一〇一八三五

倉敷市四十瀬三四三一―三

電話（〇八六）四二四―八〇二〇

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷 耕治

〒七二一一〇九三六

倉敷市児嶋柳田町二三三六―四

電話（〇八六）四七三―三六二四

山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七二六一〇〇四五

高梁市中原町一五四二―六

電話（〇八六六）二二―一〇三五

株式会社相和建設

代表取締役 光森敏文

〒七〇一〇一五三
岡山市北区富原五一八一
電話（〇八六）二五三一〇〇〇

有限会社吉備環境設備

〒七〇一〇一六五
岡山市北区大内田一三六七
電話（〇八六）二九三〇五二四

有限会社吉美

〒七〇一〇一六五
岡山市北区大内田一三六七
電話（〇八六）二九三一〇五二

株式会社研美社

代表取締役 奥山秀敏

〒七〇〇〇九八六
岡山市北区新屋敷町二二二二
電話（〇八六）二四三一五八五

あけまして
おめでとう
ございます。



株式会社ケイ・エヌ・ビー

代表取締役 西岡喜良

〒七〇一〇〇四七
倉敷市大島五六〇一一二
電話（〇八六）四二四一三七三七

横山商事株式会社

代表取締役 横山忠彦

〒七〇一〇三〇二
備前市日生町寒河二五五九
電話（〇八六九）七二一三〇一

有限会社豊田建運

代表取締役 豊田紀代美

〒七〇九〇七〇四
赤磐市沢原一五四一一
電話（〇八六）九九五〇〇〇一

コーワン株式会社

代表取締役 寺尾俊郎

〒七〇五〇〇二二
備前市東片上五〇一一
電話（〇八六九）六四一三三三三

小野建設株式会社

代表取締役 小野 勝己

〒七〇一―一二〇五
岡山市北区佐山一三六四―三
電話(〇八六)二八四―七一六一

田村碎石工業株式会社

代表取締役 田村 啓二

〒七〇九―一二一〇七
岡山市北区御津矢原二八五―二
電話(〇八六七)二四―〇七一五

タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚 雅司

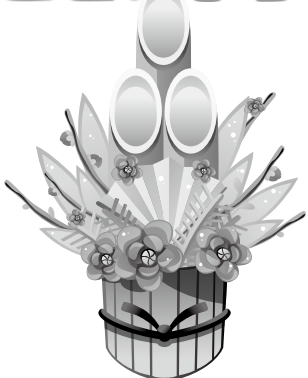
〒七〇〇―〇九三五
岡山市北区神田町二一―一二五
電話(〇八六)二二四―三二九一

株式会社デベロップ岡山

代表取締役 田口 睦青

〒七〇一―〇二二三
岡山市南区中畦二一―八一三
電話(〇八六)二九八―三二二五

あけまして
おめでとう
ございます。



中野開発株式会社

代表取締役 中野 治

〒七〇一―二二四二
岡山市北区玉柏七五
電話(〇八六)二二九―二三一六

株式会社西日本アチュー

マツトクリーン

代表取締役 藏 本 忠男

〒七〇三―八二四五
岡山市中区藤原五〇―一
電話(〇八六)二七二―八〇四二

公共産業株式会社

代表取締役 小川 大志

〒七〇九―〇六二六
岡山市東区中尾一二六―四
電話(〇八六)二七八―九七七〇

有限会社タカノリ産業

代表取締役 岩 田 栄 治

〒七〇一―一四六二
岡山市北区大井二八五一
電話(〇八六)二九五―〇八八九

泉建設株式会社

代表取締役 泉 正昭

〒七〇二一八〇二三
岡山市南区飽浦二二六
電話（〇八六）二六七―五三三三

株式会社蓬萊組

代表取締役 蓬 萊 富 孝

〒七〇〇一〇九四四
岡山市南区泉田五五一一〇
電話（〇八六）二六五―五六七一

栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀 川 英 輔

〒七〇〇一〇九四三
岡山市南区新福二一七―二〇
電話（〇八六）二六五―一二三四

有限会社片岡久工務店

代表取締役 片 岡 重 治

〒七〇二一八〇三三
岡山市南区福富東二一七―一三
電話（〇八六）二六三―二〇一〇

あけまして
おめでと
ございます。



株式会社岡清組

代表取締役 藤 井 武 士

〒七〇〇一〇八六六
岡山市北区岡南町二一五―七
電話（〇八六）二三三―七二三〇

岡山砒油株式会社

代表取締役 山 本 誠

〒七〇二一八〇四五
岡山市南区海岸通二一三一六
電話（〇八六）二六四―六八六六

有限会社岡山清掃

代表取締役 惣 市 卓 久

〒七〇一〇二〇二
岡山市南区山田一〇七二
電話（〇八六）二八一―〇八九〇

株式会社小坂田建設

代表取締役 小 坂 田 英 明

〒七〇九一三一一二
岡山市北区建部町川口一四一七
電話（〇八六七）二三一―〇二五七

ナカウン株式会社

代表取締役 河田 育雄

〒七〇三―八五八〇

岡山市中区倉富三四〇―一八

電話（〇八六）二七七―四一四〇

有限会社岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇三―八二六六

岡山市中区湊一三六三―一八

電話（〇八六）二七四―五七三九

備前鋼業有限公司

代表取締役 藤井 研一

〒七〇一―四二二四

瀬戸内市邑久町本庄八一―一二

電話（〇八六九）二四―一五九二

ナカ重量株式会社

代表取締役 中 俊介

〒七〇二―八〇〇六

岡山市中区藤崎五六七―三

電話（〇八六）二七六―六九〇〇

あけまして
おめでと
ございます。



有限会社リサイクル センター平島

代表取締役 筒井 邦典

〒七〇九―〇六三一

岡山市東区東平島二七―一

電話（〇八六）二九七―五五八二

明和建設株式会社

代表取締役 黒田 正義

〒七〇九―〇六三一

岡山市東区東平島一三九七

電話（〇八六）二九七―三七三七

株式会社ニシテック

代表取締役 西本 智

〒七〇九―〇六三五

岡山市東区草ヶ部一一七一―一

電話（〇八六）二九七―〇九八五

有限会社井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二―八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四―三

電話（〇八六）二六三―八七四五

内海産業株式会社

代表取締役 松本 俊成

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一九一三七
電話（〇八六）九四八―二二三七

株式会社日本資源開発社

代表取締役 林 茂樹

〒七〇九一〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二
電話（〇八六）二九七―二二二八

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 櫻井 勉

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町一一五七―一
電話（〇八六）九四八―四一七〇

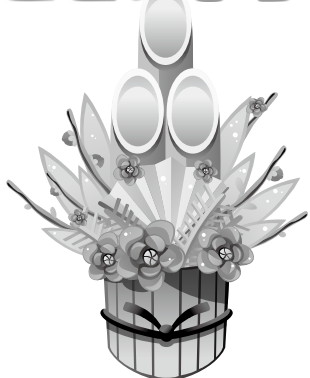
株式会社石原工務店

代表取締役 石原 孝

〒七〇四一八一九三

岡山市東区金岡西町八〇一―一
電話（〇八六）九四二―五一五一

あけまして
おめでと
ございます。



株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎 文夫

〒七〇四一八一九四

岡山市東区金岡東町二一四―三三
電話（〇八六）九四二―三三八一

日本エクスラン工業株式会社

西大寺工場

専務取締役工場長

塩田 博孝

〒七〇四一八五一〇

岡山市東区金岡東町三―三一―一
電話（〇八六）九四二―九八四〇

牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中 三春

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二
電話（〇八六九）三四―四九七八

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下 聖士

〒七〇二一八〇〇五

岡山市中区江崎七四六―三
電話（〇八六）二七六―一一一一



解体工事

金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、
皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般
製鋼原料・非鉄金属原料
産業廃棄物処理
東京製鐵㈱指定産材店

安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛男

本社 〒702-8030 岡山市南区三浜町1-118

TEL086-263-3061 FAX086-263-3028

岡山・倉敷の“地域活性化”を目指して、
全国へ地元の逸品を届けています。



岡山の逸品をネットでお届け

倉敷本舗

<http://www.kurashikihonpo.com/>

ぼっけうさぎ

検索

[運営会社] 株式会社玉島活版所
〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂 2095-11
info@kurashikihonpo.com

商品掲載のご希望は 086-552-9494 倉敷本舗うさぎ店長までご依頼ください。



私たちは、皆様とともに未来環境を考えます。

- 廃棄物処理 ●浄化槽保守点検
- 下水道施設維持管理維持管理
- 濃度計量証明事業(水質検査他)



協 同
組 合

倉敷市環境保全協会

理事長 岡 井 美 幸

〒710-0038 倉敷市新田2322-8

TEL.(086)422-7371 FAX.(086)421-5427

循環型社会に貢献する企業

廃棄物収集運搬（一廃・産廃・特管）

処理処分から、少ない資源の有価物の再利用

一般貨物自動車運送事業・緑化事業までのご提案



ISO14001 取得



山陽美業株式会社

代表取締役 室山 宣英

〒710-0826 本 社 / 倉敷市老松町二丁目 13 番 30 号

TEL086-434-3500 FAX086-422-1331

〒710-0007 倉敷事業所 / 倉敷市浅原 276 番地

TEL086-422-9113 FAX086-422-3833

URL <http://www.sanyobigyo.jp>



環境を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のためにリサイクルの推進を行ってまいります。

未来に翔く



倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

ISO14001
認証取得



JQA-EM5372

- ・本社：岡山県倉敷市中央 1-6-24 ☎(086)424-6429
- ・弥高山事業所：倉敷市玉島服部 3318-2 ☎(086)525-8515
- ・黒石事業所：倉敷市黒石 1052 ☎(086)426-1379
- ・大平山リサイクルセンター：倉敷市連島町西之浦 4566-1 ☎(086)448-8224

産業廃棄物中間処理

がれき類(コンクリートくず、アスファルトくず、瓦くず等)、廃プラ、木くず、紙くず、繊維くず、建設汚泥、廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず 等

最終処分(安定型・管理型)



再資源化施設
(コンクリートくず・アスファルトくず)



再資源化施設
(木くず)



固形燃料施設
(廃プラ・木くず・紙くず)

岡山県エコ製品(再生碎石、再生砂、改良土)、
木材チップ(燃料用、原料用)、固形燃料(RPF)の販売



中央建設(株)

総合建設業/建物解体工事業

本社 ☎(086) 424-6429

本店 ☎(086) 284-5118

(株)トーヨー商事

倉敷市長許可第10040030706号

本社 ☎(086) 424-6429

黒石 ☎(086) 426-1379

HITACHI

Reliable solutions

仕事に強く、環境に優しく…
私たちのソリューション



ZH200 ハイブリッドショベル

豊富な技術と経験を融合させて、社会の課題に応える製品づくり。

広大な大地で、都市や市街地で、長時間使われる建設機械。だからこそ、多彩な作業に応える強さと、人や環境に対する優しさが必要です。日立建機日本は、この課題に応じて、様々なエネルギーを活用した製品開発に取り組んでいます。その一例が、新世代のハイブリッドショベルZH200です。

ZH200は、長年培った油圧ショベル、バッテリーショベル、電動ショベルの技術に、新しい省エネ油圧システムをプラスすることで、高い実用性能と優れた低燃費を実現しました。日立建機日本は、生産性向上と省エネルギーの課題に応える製品づくりを通して、社会と環境へ貢献するソリューションを提供しています。



ZAXIS 35B バッテリーショベル



ZAXIS 75US 電動ショベル



EH 4500 AC ドライブ+トローラーシステム

 **日立建機日本株式会社** <http://www.hitachi-kenki.co.jp/>